

よりよい社会づくり

「自然と社会と人間の調和」をめざし、環境教育や学生支援、ボランティア活動など、皆様とともにさまざまな社会貢献活動を推進しています。

東日本大震災での支援活動

仙台市と石巻市で、タンクローリーで給水活動を支援

2011年3月11日に発生した東日本大震災に際しては、工場間での焼酎の転送などに使用している10kℓ大型タンクローリー車2台と運転手、オペレーターを被災地に派遣し、現地での給水活動を支援しました。

宝酒造では、これまでも1995年の阪神淡路大震災をはじめ、震災や自然災害の被災地に大型タンクローリー車を派遣し、給水活動を行っており、今回の支援活動もこうした経験を踏まえて行ったものです。

このほか、TaKaRaグループとして義援金3,000万円、TaKaRaグループ各社社員およびOBからの義援金254万円を日本赤十字社に寄付しました。



仙台市での給水活動

エコプロダクツ2010への出展

環境配慮型商品の展示や自然観察の授業を実施

2010年12月、国内最大規模の環境展であるエコプロダクツ2010に出展しました。ブースでは、焼酎の「はかり売り」推進や宝焼酎「純」でのリターナブルびん採用といった商品での環境配慮について展示。また、「TaKaRa田んぼの学校」の活動を紹介し、その中で実施している自然観察の授業をブースで再現して、多くの来場者に体験していただきました。

このほか、ブース内のパネル展示を読んで質問に答える環境クイズも企画し、正解者には酒パックをリサイクルして作った景品をプレゼントしました。



エコプロダクツ2010 当社ブース

囲碁大会「宝酒造杯」開催

対局のほか各種イベントも

日本の伝統・文化を大切に伝承する宝酒造は、囲碁とお酒が楽しめる囲碁大会「宝酒造杯」を公益財団法人日本棋院と共同で開催しています。

「宝酒造杯」は成人ならだれでも参加できるアマチュア向け唯一の全国規模の囲碁大会で、初心者から高段者までクラス別に対局できるほか、試飲やサイン会などのイベント、プロ棋士の指導碁など、盛りだくさんの大会です。2010年度は8か所9回の地区大会と決勝の全国大会で延べ3,486人の方にご参加いただきました。



大会の様子

各地のボランティア活動

環境教育の事例や環境負荷低減活動を紹介

社会貢献活動の一環として、各地のボランティア活動に積極的に参加しています。

実施事例	事業場
京都市まちなみ美化 清掃ボランティア	本社
「TaKaRa田んぼの学校」 サポーターボランティア	全社
「地球ピカピカ大作戦」 各事業場周辺清掃ボランティア(労働組合主催)	各事業場
江戸川を守る会主催 「江戸川クリーン大作戦」参加	松戸工場

授業や講演会への協力

環境教育の事例や環境負荷低減活動を紹介

講演会等については、要請があれば積極的に協力しています。2010年度も、当社が実施している環境教育の事例紹介や環境負荷削減活動の紹介など、ご要望いただいた内容に合わせた授業や発表に取り組みました。

講演会名または学校名
京都府 「いただきます。地元産」プラン検討委員会にて講演
千葉県 「企業と生物多様性セミナー」にて講演
岡山県 就実中学校 会社訪問での環境活動講師
神戸市東灘区主催 ジュニアさけスクール開催

インターンシップの実施

“ものづくり”を学ぶ職場体験の場を提供

職場体験を通じて企業活動や組織について理解を深め、自分の適性や能力に見合った職業を選択する意識を醸成してもらうことを目的に、大学生と大学院生を対象としたインターンシップを1998年から実施しています。2010年度は12名を受け入れ、学生の皆様に「商品企画のプロセスから“ものづくり”の

考え方を学ぶ」をテーマに、商品コンセプトの設計や市場データの調査、試作品の制作などを体験していただきました。

実施年度	2006	2007	2008	2009	2010
インターンシップ受け入れ人数	8	12	12	12	12

グループ会社の取り組み 瑞穂農林

地域で資源を循環させる事業モデルを構築

タカラバイオと京都府京丹波町ならびに京丹波森林組合との合併会社である瑞穂農林は「大粒丹波しめじ」を栽培しています。

瑞穂農林でのご栽培用の菌床に使われるおがくずは地元産のスギから製造したものを100%使用、また米ぬかもすべて京都産のものを使用しています。きのご栽培後の廃菌床は地元の畜産農家で肥料とし

て使用した後にたい肥に使用されます。このように瑞穂農林は地域における資源循環企業として、地元へ貢献しています。

この事業モデルが評価され、2010年度全国農業コンクールにおいて、毎日新聞京都支局長賞を受賞しました。



大粒丹波しめじ

グループ会社の取り組み 大平印刷

すべての人にやさしい印刷物の普及を推進

大平印刷では、色弱の方をはじめ、あらゆる人に見分けやすい配色「カラーユニバーサルデザイン(CUD)」を用いた、人にやさしい印刷物「ユニバーサルプリンティング」の普及拡大に取り組んでいます。色弱の方は国内に延べ320万人、世界では2億人にのぼると推定され、CUDへの対応がまさに求められています。大平印刷では、特定非営利活動法人「カラーユニバーサルデザイン機構」の検証のもとでこの「ユニバーサルプリンティング」を制作しています。

ユニバーサルプリンティングの導入事例としては、阪急電鉄株式会社の時刻表や路線図、停車駅案内などのデザインに採用されています。

寄付金付用紙による社会貢献

チャリティ紙「ワクチンペーパー」の普及を促進しています。世界の子どもたちがポリオなどのワクチンを接種でき、その幼い命を感染症から救うための寄付金を含んだ印刷用紙「ワクチンコート」「ワクチンマット」を日本紙パルプ商事株式会社と共同開発。2008年から「世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」の活動を支援しています。これによって2010年の1年間で、4万6,526名分のワクチンを贈ることができました。

同様の仕組みで、日本赤十字社への寄付金付用紙「赤十字ペーパー」や財団法人日本盲導犬協会への寄付金付用紙「盲導犬支援ペーパー」の取り扱いも2010年から開始しています。



赤十字ペーパー啓発用チラシ